

キバチ用ホドロントラップによる福岡県での捕獲結果

福岡県森林林業技術センター 大長光 純

1. はじめに

ニホンキバチなどのキバチ類はスギ、ヒノキに対して、材部への幼虫の食害や共生菌 *Amylostereum* による変色を生じさせる害虫として知られている。しかし九州地方での知見は必ずしも十分ではない。このたび福岡県内において、種類と発生時期を明らかにするために誘引剤(ホドロントラップ, 以下トラップという)による捕獲調査を行なったのでその結果を報告する。

なお、本研究は情報活動システム化事業「スギ・ヒノキ人工林におけるキバチ類の被害実体の把握と防除対策に関する基礎調査」の成果の一部である。また、トラップを提供していただいた井筒屋化学産業株式会社に感謝する。

2. 調査地と調査方法

調査は1996年から3年間、県内4箇所で行った。そのうち矢部村では3年間続けて調査を行ったが、それ以外は1年のみの調査である。調査地の林況等を表-1に示す。各調査地とも風倒木や切り捨て間伐木があるが、いずれも5年以上経過した古い材である。使用したトラップは山崎らが1991年調査⁹⁾に用いたものと同型だが、誘引剤(主成分は安息香酸とオイゲノール)の量は彼らの半分の500mlを使用した。トラップを、直線上もしくは方形(16個使用時)に15m間隔で地上1.5mの高さに立木間に設置した。調査期間中に粘着紙は月に2度交換し、捕獲したキバチ類の種類と個体数を数えた。また期間中は

表-1 調査地の概況

場所	標高	林況
矢部村ニッチ	500m	スギ林、7年以上前の風倒木あり
那珂川町九千部	770m	スギ林、同上
添田町豊前町	770m	スギ林、5年以上前の間伐木あり
久留米市山本	70m	スギ・ヒノキ・広葉樹混交林、5年以上前の風倒木あり

誘引剤の交換は行わなかったが、調査終了時でも誘引剤は容器中に残っており、最後まで誘引力は持続していたと思われる。

3. 結果と考察

捕獲結果を図-1と表-2-6に示す。なお調査地のうち久留米市では1996年6月15日から10月10日までトラップ4個で調査を行ったが、キバチ類は捕獲されなかった。

今回の調査結果から福岡県においてスギ、ヒノキを加害するニホンキバチ、ヒゲジロキバチ、オナガキバチ3種の生息を確認できた。

ニホンキバチは、久留米市をのぞく3調査地で捕獲され、捕獲時期は7月から10月で、ピークは8-9月であった。また1シーズン、1トラップ当たりの平均捕獲数は3.5-6.0頭であり、発生源に近い山崎らの調査⁹⁾に比べてかなり少なく、発生源から離れた福田らの調査¹⁰⁾とほぼ同程度であった。ただし各調査地で使用したトラップ数がそれぞれ違うため、今回の結果だけでは捕獲頭数から



図-1 調査位置と捕獲種類

(ニホン:ニホンキバチ, ヒゲジロ:ヒゲジロキバチ, オナガ:オナガキバチ)

生息個体数を比較することはできない。雌雄の別では、今回のすべての調査地で雌が多く捕獲された。福田ら¹⁾は発生地から遠いほど雌が多く捕獲されるとしており、今回の調査地およびその周辺では発生源となる新しい倒木や間伐木がほとんどないため、捕獲されたニホンキバチはトラップから離れた場所で発生した個体であると思われる。

ヒゲジロキバチは2箇所、オナガキバチは3箇所、捕獲された。両種とも調査開始時にすでに発生は始まっており、発生終了時期はヒゲジロキバチが7月下旬、オナガキバチは8月末~9月上旬で、ニホンキバチよりも早かった。また捕獲されたほとんどが雌であった。ただしこの

2種は調査期間以前の傾向がわからないため、ニホンキバチのように発生地とトラップ設置場所が離れていたかどうかは不明である。

4. まとめと問題点

ホドロントラップを用いた調査で、福岡県内において3種類のキバチが捕獲された。もっとも多く捕獲されたニホンキバチでは、8月から9月が発生のピークであった。また捕獲されたニホンキバチほとんどが雌であったため、調査地近くに発生源は少ないものと思われる。今後は被害回避を計る面からも、成虫の移動可能距離を調査する必要がある。

引用文献

- (1) 福田秀志ほか：中森研，45，181~184，1997
- (2) 福田秀志・伊藤正仁：中森研，46，146~152，1998
- (3) 山崎三郎・峰尾一彦：日林論，102，247~249，1991
- (4) 山崎三郎ほか：日林関西支論，1，281~283，1992

表-2 那珂川町におけるキバチ類捕獲結果

トラップ設置：'97年6月16日、トラップ4個の合計数										
調査月日		6/30	7/14	7/28	8/15	9/2	9/19	9/30	10/13	計
ニホンキバチ	♀	0	0	1	2	5	6	0	0	14
ヒゲジロキバチ	♀	8	3	2	0	0	0	0	0	13
オナガキバチ	♀	4	0	0	0	0	0	0	0	4

表-3 添田町におけるキバチ類捕獲結果

トラップ設置：'98年5月27日、トラップ5個の合計数											
調査月日		6/10	2/23	7/6	7/24	8/4	8/21	9/8	9/25	10/8	計
ニホンキバチ	♀	0	0	1	1	1	12	8	2	0	25
ニホンキバチ	♂	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
ヒゲジロキバチ	♀	0	2	2	2	0	0	0	0	0	6

表-4 矢部村(1996年)におけるキバチ類捕獲結果

トラップ設置：'96年6月19日、トラップ4個の合計数											
調査月日		7/1	7/10	7/26	8/12	8/23	9/9	9/25	10/11	10/22	計
ニホンキバチ	♀	0	0	1	1	4	10	4	3	0	23
ニホンキバチ	♂	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
ヒゲジロキバチ	♀	0	0	2	0	0	0	0	0	0	2
オナガキバチ	♀	2	0	2	4	3	1	0	0	0	12
キバチ不明種 ¹⁾		0	0	0	0	0	1	0	0	0	1

¹⁾: 虫体が破損し種類不明

表-5 矢部村(1997年)におけるキバチ類捕獲結果

トラップ設置：'97年6月17日、トラップ16個の合計数										
調査月日		7/3	7/16	7/29	8/18	9/9	9/25	10/7	10/22	計
ニホンキバチ	♀	0	1	2	10	26	16	0	0	55
ニホンキバチ	♂	0	0	0	1	14	3	0	0	18
ヒゲジロキバチ	♀	5	1	0	0	0	0	0	0	6
オナガキバチ	♀	10	3	0	2	6	0	0	0	21
オナガキバチ	♂	1	0	0	0	0	0	0	0	1

表-6 矢部村(1998年)におけるキバチ類捕獲結果

トラップ設置：'98年5月25日、トラップ16個の合計数											
調査月日		6/8	6/23	7/6	7/22	8/6	8/21	9/7	9/25	10/8	計
ニホンキバチ	♀	0	0	0	2	7	14	8	8	4	43
ニホンキバチ	♂	0	0	0	3	0	9	2	1	0	15
ヒゲジロキバチ	♀	3	10	1	2	0	0	0	0	0	16
オナガキバチ	♀	3	8	6	1	1	2	0	0	0	21